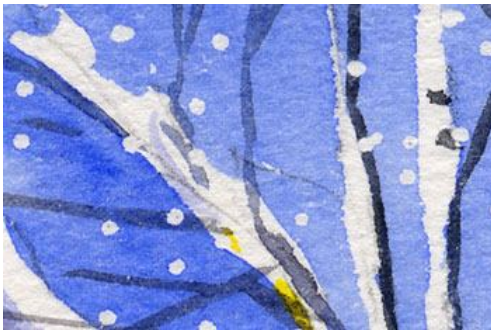


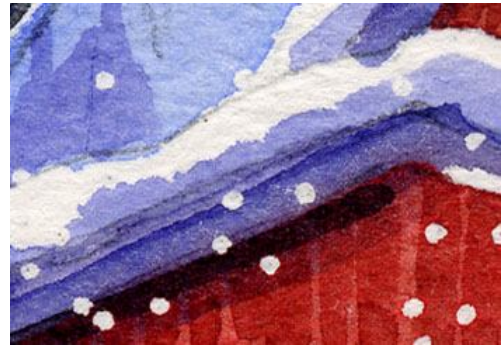
スカンジナビア半島の北部 北緯67度33分より北は北極圏に位置します 実際に国道を走っていると「ここから北極圏」という標識が出ています 北極圏というのは地理学上(というよりも天文学上といったほうが実質的には合っています)の境界線で この線を越えたら急に北極の景色になる というもの ではありません 正確には北緯66度32分35秒の緯度線をさし これより北では 1年のうちに少なくとも1日以上白夜(24時間太陽が沈まない日)と極夜(24時間太陽が出ない)があることとなります 今の時期は北へ行くほど極夜の期間が長く 太陽は全く姿を見せません しかし一日中真っ暗というわけではなく 正午ごろは薄明るくなります 朝焼けがそのまま夕焼けになる感じです そんな土地でも人々は 暖炉に火を入れ 窓辺に灯りをともし 暖かい暮らしを営んでいます



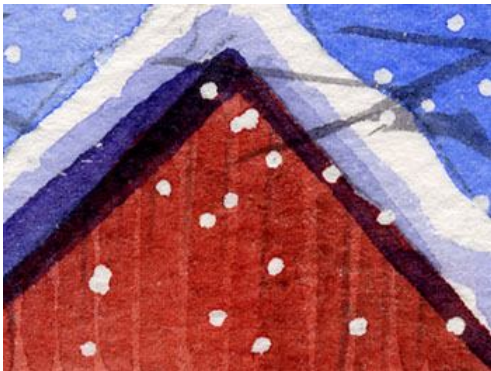
これが完成した絵です



1、白樺の梢に積もった雪は 塗り残して表現します



4、厚く積もった雪は 何回かに分けて影をつけます



2、ベンガラ色の壁は スウェーデンの民家の特徴です 縦のタッチで木目を



5、柵の杭に積もった雪も いいアクセントに



3、窓辺の電飾(ユールストック)の7個の光 これはマスキングで



6、窓からもれる灯りと 樹木がつくる影